

産学連携授業

乙訓高等学校ではスポーツ健康科学科を中心として高校と大学、専門学校等が連携した高大連携授業、企業の研究者の方をお招きして講演会を行う産学連携授業を展開しています。

「ワクワクする新しいスポーツを生み出そう！」

日時：令和6年2月13日（火）6・7限

対象：スポーツ健康科学科1年生

講師：アシックススポーツ工学研究所 フューチャークリエーション部
三ツ井 滋之 先生

スポーツメーカーが新商品を開発する時、様々なアイデアの創出が求められます。一口に新商品の開発と言っても、「速く走るためのウェア・シューズ・素材の開発」だけではなく、スポーツ環境をどのように整えたら良いのか？ 現在、そして未来の社会情勢を鑑みてスポーツ、健康へのハード面、ソフト面など多岐にわたるシステムづくり」など様々な分野に渡ります。

会社は機能ごとに区分されたいくつかの部署から構成されています。

会社の規模が大きい場合は、「部署」の中に「課」や「チーム」という下部組織が存在します。複数の「部署」を一つにまとめたものを「部門」と呼び、それぞれの呼称は企業によって様々です。

会社では業種にもよりますが、大きな会社ほど部署に関係なく共通して言えるのは？

- ・外国人と一緒に仕事をする機会がある。
- ・自分の強みを活かそうとする。
- ・新しいアイデアを生み出さないといけない機会がある。

どんな部門で、どんな仕事に従事しても、新しいアイデアを生み出さないといけない機会が必ずありますが、アイデアを出すのが苦手の人が多い（仕事ができる、できないとは関係ない）です。

アイデアを出すには様々なテクニックがありますが、今回はその手法の一つを使って、アイデアを出す体験をしてみようという授業でした。

突飛な発想であってもみんなで評価し合い、困難な状況下でそれを打破するアイデアを出せる創意工夫する能力は大変重要です。みんなが持っている宝物のような自由な発想から新しい物が生み出されます。

グループ毎のプレゼンテーション後に生徒同士の評価、三ツ井先生からの的確なアドバイスをあり、短い時間でしたが、「これは社会の中で生きるな！」と実感する授業でした。



